

PeopleCert Online Proctoring – P-OLP (オンライン・プロクタリング試験)

ピープルサーフトが提供する全ての研修資格試験は、利便性の向上のために会社や自宅から受験できるオンライン・プロクタリング^{*1}を提供しています。^{*1}：プロクタリングとは試験監督を意味します。

OLP は、以下の方を対象としています。

- ⇒ 社員や受講生に試験を確実に受けさせたい方
- ⇒ スケジュールが多忙な方
- ⇒ 自分の慣れた環境で再受験したい方
- ⇒ 自宅や会社から受験したい方
- ⇒ 試験会場から遠方にお住みの方
- ⇒ 受験したい気分の時に受験したい方

P-OLP 概要

- ⇒ 一般的なコンピュータ環境からカメラ、マイク、スピーカーを使用して、試験監督官の監督下で試験を実施します。試験監督官は、システムを利用して受験者の挙動や対応を記録して試験が正常に実施されたことを確認します。
- ⇒ OLP 試験で提供される試験は、認定教育機関と試験会場で提供される試験と同じ難易度の試験となり、基本的に同じ試験です。
- ⇒ 受験日予約時に**プロクター言語として日本語を選択して予約**をしますと、日本語での対応と**パスポート、マイナンバーカード、運転免許証**のいずれかを本人確認書類としてご利用いただけます。
- ⇒ 試験結果は、大半の試験で即時に暫定結果が表示されますが、各種検査/確認とアルゴリズムの結果、最終的な試験結果は翌日、または審査が入る場合には最大で7営業日以内に連絡されます。

申し込み前の事前準備：

- ⇒ システム要件を満たしていること（受験者環境により必ずしも受験が可能とは限りません）
- ⇒ 本人を確認できる有効期間内のパスポート、マイナンバーカード、運転免許証のいずれか
- ⇒ システム上に仮想化ソフトがインストールされていない
- ⇒ ピープルサーフトの PASSPORT に受験者情報（My Profile）に携帯番号が記入されている
- ⇒ 試験にシナリオ等の印刷配布物がある場合には、プリンターが稼働すること、（但し、ITIL 関連の試験の場合には、プリンターは必要ありません。）

注意事項：

- ⇒ 受験開始時から受験終了まで受験者一人しか部屋に立ち入ることはできません（個室）
- ⇒ バックグラウンドでの雑音や声が聞こえる個室では受験ができません
- ⇒ 個室は適度の光度が確保される必要があり、受験者の顔や動きが見えるように設定されている必要があります。
- ⇒ 机の上または周囲には、本、紙、ノートなどの物があってはいけません。公式指定本の持ち込みが可能なオープン試験は除きます。（英語での受験には、印刷された辞書を持ち込みすることが許されています。）
- ⇒ スピーカーとマイクはヘッドセット以外に設定すること。受験中のヘッドセットは禁止されています。
- ⇒ スマートフォン/携帯はサイレントモードにして、電源は切らないこと。試験監督官から携帯へ電話をすることがあります。
- ⇒ 試験終了後には、Exam Shield は全て**アンインストール**（削除）することを強く推奨します。
- ⇒ 企業や組織内の LAN を利用する場合、またはウイルス・ソフト各種設定により利用できない場合があります。

P-OLP システム要件

共通システム要件：

- ☑ カメラとマイク付 Windows または Mac 端末
- ☑ キーボードとマウス等の操作機材
- ☑ スピーカーとマイクロフォン（試験開始前本人確認時のみ使用）
- ☑ 常時接続型インターネット（4 Mbps 以上）

Windows 環境：

- ☑ Windows® 10, Windows® 8.1, Windows® 8, Windows® 7
- ☑ CPU: Dual-core 2.4GHz 以上 RAM: 4GB 以上
- ☑ 16-bit monitor (at least 15") with screen resolution 1024 x 768 or higher

Mac 端末：

- ☑ macOS Yosemite (10.10), El Capitan (10.11), Sierra (10.12), High Sierra (10.13) or macOS Mojave (10.14)
- ☑ Mac compatible web camera and microphone (for Mac and Mac Pro)

OLP 試験の受験の流れ:

- 1 試験開始 1 時間以上前—所要時間約 5 分から 30 分： 試験管理ソフト ExamShield のインストレーション
- 2 受験 10 分前： ExamShield へのログイン（最終環境確認）
- 3 受験開始： 受験の準備と受付の開始（規則の確認、本人確認書類のスキャン、チャットパネルのスタート）
- 4 試験監督官との最終確認と受付（システム、受験試験、本人確認等をカメラ対面で行います）
- 5 試験の開始
- 6 受験
- 8 試験の終了
- 9 サーベイ（調査票）の記入
- 10 試験結果の暫定報告（最終結果は後日発表）

本人確認身分証明書

有効期間内 ID：

- ▷ パスポート
- ▷ マイナンバーカード
- ▷ 運転免許証



よくある質問

Q1 日本語だけで受験できますか？

試験予約時に、日本語を試験監督言語（プロクター言語）として選択の上、予約をされた場合には、日本語での試験監督を実施、また、本人確認書類も運転免許証とマイナンバーカードがご利用いただけます。

試験設問の日本語版選択とは異なります。

Q2 有効期限内のパスポートをもっていない？

試験予約時に、日本語を試験監督言語（プロクター言語）として選択した場合には、本人確認書類も運転免許証とマイナンバーカードがご利用いただけます。

Q3 OLP 試験は不正が行いやすいのではないですか？

ピープルサートでは不正受験防止のために、カメラ、マイク、システムのアルゴリズム等を利用して不正を摘発できるようにしています。受験に必要な動作以外をできるだけしないようにご協力ください。

Q4 ラップトップ PC (MacBook) の内蔵カメラと内蔵スピーカでも利用できますか？

はい。問題なく利用できます。

Q5 試験代金の支払い手段はどんな手段がありますか？

認定教育機関によって異なりますが、ピープルサートの WEB ではクレジットカード支払いのみになります。

Q6 バウチャーによる OLP 試験は可能ですか？

企業がバウチャーを認定教育機関または試験機関から一括購入して社員に配布することが可能です。受験

者はバウチャーに紐づく試験を受験することが可能です。

Q7 試験の事前条件として他の資格の認定が必要とあるのですが、OLP でも必要ですか？

はい。予約システムで事前に受講証または認定証をアップロードして照合された場合のみ OLP の受験が可能です。または、受験ができることもありますが、事前要件を満たさないと合格証の発行が一時停止されます。

Q8 予約後、システムへアクセスして受験者側のシステムの問題で受験できない場合にはどうなりますか？

[カスタマーサービス](mailto:japan@peoplecert.org)または japan@peoplecert.org へご連絡ください。

Q9 本人確認の ID の表記の英語氏名と受験システム上の表記が異なっているのですが？

婚姻などで氏名の変更があった場合には、カスタマーサービス宛にメールで変更事由を記載の上、ご連絡ください。また、変更を証明する資料（戸籍謄本）等をマイ・アカウントからアップロードしてください。当社から指示案内を送付いたします。詳しくは、[当社ウェブサイト](#)をご参照ください。

注意： 会社の業務ネットワークでインターネットへの接続を制限している場所、またはウィルス対策などのセキュリティで端末の利用が極度に制限されている PC からは利用ができません。

お問い合わせ先：

当社ウェブサイト [PeopleCert.jp](https://www.peoplecert.jp) / japan@peoplecert.org または日本の担当者までご連絡ください。